

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム 2020年度第2回共同FD研修会

「数理・データサイエンス教育の推進」

「AI戦略2019」（内閣に設置された統合イノベーション戦略推進会議にて令和元年6月11日決定）では、Society5.0の実現に向け、「文理を問わず、全ての大学・高専生が、初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」や「文理を問わず、一定規模の大学・高専生が、自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得」が掲げられています。この研修会では、分野を超えた数理・データサイエンスを社会においてどのように活用しうるか、また、授業内容や授業改善に向けて何ができるかについて2名の講師より発表いただき、数理・データサイエンス教育の方向性について考えていきます。

【開催日時】 2020年10月31日（土） 14:00～15:10

【実施方法】 Web会議システム「Zoom」によるオンライン配信

【対象者】 大学コンソーシアム市川参画大学及び他大学教職員等（※）

※職員はSD研修会として実施します。

【プログラム】

全体進行 昭和学院短期大学人間生活学科教授 佐藤智広

挨拶	大学コンソーシアム市川 会長・千葉商科大学学長 原科幸彦
講演1	「医療ビッグデータとAIを活用した新しい医療技術」 東京医科歯科大学教養部教授 中林 潤 我々の日常生活から生み出される膨大な量の情報は逐次データ化され、所謂“ビッグデータ”として集積される。これを活用しようという動きが社会の様々な領域で起こっているが、医療・医学・生命科学の領域も例外ではない。本講演では医療関連分野におけるビッグデータの活用についてその技術的基盤を概説し、必要となる数理的リテラシーについて述べる。
講演2	「AI時代にデータとモデルをどう学ぶ？」 千葉商科大学基盤教育機構教授 寺野隆雄 AI技術の普及によって、大量データさえあれば「賢い」システムが実現できるような誤解がある。しかし、より良いシステムを実現するためには、正しいデータの集め方・作り方、適切なモデルの選び方が重要である。一般教養として、この種の考え方を学ぶ方法について述べる。
総括	大学コンソーシアム市川推進委員会 副委員長・東京医科歯科大学教養部教授 奈良雅之

【申込方法】 2020年10月25日（日）までに、こちらのQRコードよりお申し込みください。

※大学コンソーシアム市川参画大学教職員は、所属大学の担当窓口に直接お申込みください。



【問合せ先】 大学コンソーシアム市川事務局（〒272-8512 市川市国府台1-3-1 千葉商科大学内 社会連携推進課）

TEL 047-320-8667

E-mail jim-consortium-ichikawa@cuc.ac.jp

【主催】 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム

●コンソーシアムとは、法人・団体などが特定の目的のために結成される共同体をいいます。

●「大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム」は、市川市内にある和洋女子大学、千葉商科大学、東京医科歯科大学教養部、昭和学院短期大学、東京経営短期大学及び市川市、市川商工会議所により設立され、地域の高等教育及び地域社会の発展に寄与することを目指しています。